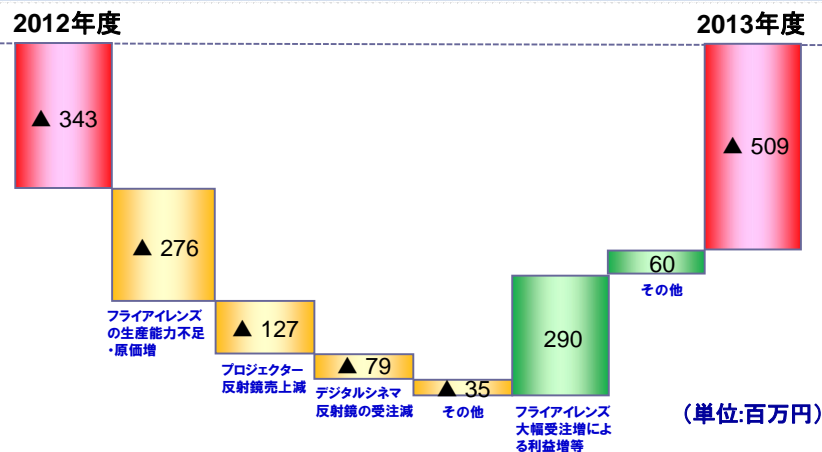


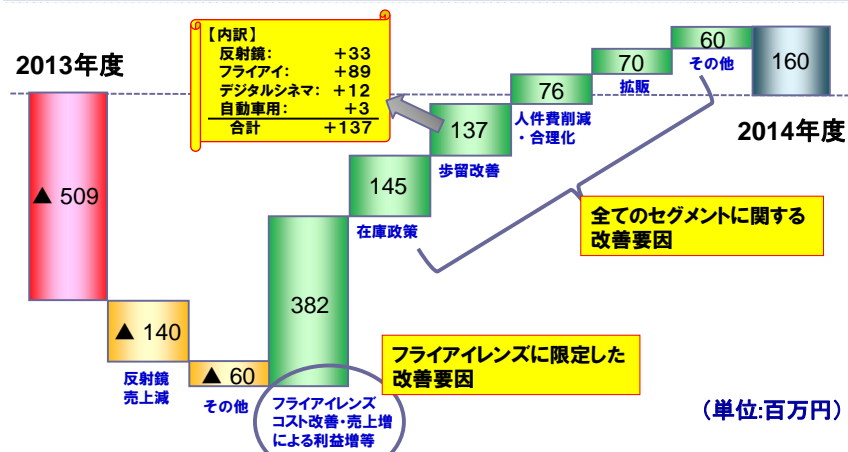
連結営業利益の減益要因

主なマイナス要因は、フライアイレンズの生産能力不足・原価増と反射鏡の売上減



連結営業利益の改善要因

プラス要因は、主にフライアイレンズのコスト改善、売上増
マイナス要因は、主に反射鏡の売上減



2014年度 業績予想(連結)

(単位:百万円)	2013年度 実績	2014年度 計画
売上高	5,827	6,183
営業利益	▲ 509	160
経常利益	▲ 412	33
当期純利益	▲ 378	23

事業計画における経営課題

1. フライアイレンズの採算改善
2. 経営資源の最適配分
3. 新規事業の早期立ち上げ